

第 15 回全国登山者自然保護集会実施要綱

主 催 日本勤労者山岳連盟

主 管 東京都勤労者山岳連盟

2010年5月31日

メインテーマ

「生物多様性の恵みを大切にし、登山文化の発展を」

豊かな山の自然を守り、自然と共生した持続可能な登山文化へ

今年は、さまざまな生物の保全を目的とする生物多様性条約の第 10 回締約国会議（COP10）10月に名古屋で開かれる年です。

日本勤労者山岳連盟は、37年前から全国いっせいにクリーンハイク運動に取り組み、2006年には「登山自然保護憲章」を制定、「登山文化の継承発展と山岳自然と登山者との新しい共存をめざし」て、自然保護運動に取り組んでいます。

私たち人類も生物であり、他の生き物とのつながりのなかで生き、生物多様性の恵みのなかで暮らしています。私たちは各地域によって異なる伝統的な知識や文化をもって暮らしていますが、このような多様な文化は各地域の豊かな生物の多様性に根ざして生まれたものです。私たち登山者がめざしている登山文化の継承・発展は生物多様性の恵みなしには達成できません。

山岳自然は生物多様性の宝庫です。登山者には、生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたって享受できるように、山岳自然と共生する登山文化を実現していくことが求められています。

自然豊かななかで、楽しい登山を続けていくために、登山者として、どのようにしていかなければならないのか、なにが必要なのか、共に考えていこうではありませんか。

全国の登山愛好者をはじめ、登山団体、自然保護団体、研究者や関心のある市民など多数の方々が参加していただくことを心から期待しております。

記念講演 = 小川 潔氏（東京学芸大学教育学部准教授）

・講演テーマ「生物多様性の保全と登山者の役割について」

日 程 = 2010年11月27（土）13時～28日（日）12時

場 所 = プリヂストン奥多摩園

〒198-0171 東京都青梅市二俣尾1 - 264 電話 0428 - 78 - 8231

交通 = JR 青梅線「石神前」駅下車2分

資料代 = 500円（夜の交流会参加者は別に1500円）

宿泊希望者は8000円（資料代、一泊二食付き・交流会費用含む）が必要です。

申し込み先・問合せ先 = 東京都勤労者山岳連盟（主管）

メール又はFAXにて申し込んでください。極力、都道府県又は会単位でお願いします。締切期限は、11月13日（金）です。

E-Mail info@twaf.jp TEL/FAX 03-3260-0372

連絡先：都連盟自然保護委員会

理事（渉外担当）林祥介 080-2006-2073

会議スケジュール

【第1日目】11月27日（土）

- ・受付開始 (12時00分)
- ・開 会 (13時00分)
- ・主催者挨拶 日本勤労者山岳連盟
- ・主管 挨拶 東京都勤労者山岳連盟
- ・基調報告 日本勤労者山岳連盟自然保護委員会
(13時20分～13時40分)
- ・記念講演(13時40分～15時40分)
小川 潔氏(東京学芸大学教育学部准教授)
「生物多様性の保全と登山者の役割について」
- ・各地方連盟報告(15時50分～17時30分)
 - ・地方連盟の5～6箇所から8～10分程度の報告を予定。
- ・食事と交流会 (18時～21時)

【第2日目】11月28日（日）

- ・受付開始(8時30分)
- ・分科会(9時00分～11時00分)
分科会テーマ
生物多様性の宝庫である山の自然、汚さずに自然を傷つけない登山とは
オーバーユースや携帯トイレ問題について考える
里山の自然を大事にし、山の多様な楽しみ方を求める登山文化を
地球温暖化と気候変動、登山者はどうすればいいか 低炭素登山について考
える
野生鳥獣と共生するための登山者の役割 山岳地帯に進出するニホンジカ
やサル、人里に現れるクマ、イノシシなどについて考える
貴重な山の自然を破壊するヒトの経済活動や社会生活の問題について考
える
- 分科会の討議内容報告(11時10分～11時45分)
- まとめと閉会(11時45分～11時55分)

オプションツアー（希望者対象）

主管の東京都連盟実行委員会で、奥多摩のハイキング・登山（小屋泊まりを含む）を企画しています。希望する山がある場合は、担当者に早めにご連絡ください。オプション登山に必要な諸経費は、参加者にご負担いただくことになります。

ご自身で計画される場合は特に連絡不要です。

- ・鹿食害の川苔山、石灰石採石の天祖山、天狗裁判の高尾山、百目名山の雲取山などがあります。

以上